

令和5年度府中市立府中第五小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（児童の学び方）

- ① 「全国学力・学習状況調査」の結果では、国語・算数共に正答率の全国平均を7ポイント上回っていたが、自分の考えを記述する問題の正答率が低い。
- ② 都の「学力向上を図る調査」の結果では、「分かることがたのしい」「友達や先生と授業をするのが楽しいから」と学習動機を選ぶ児童が88%を上回っている。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ① 自分の考えがもてない児童がいる。
- ② 自分の思いや考えを伝えたり、表現したりする力が弱い。
- ③ 目的や場面に応じ、適切に話したり聞いたり、話し合ったりする力が弱い。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す児童の学びの姿

- 【低学年】・考えをもち伝えようとする子
- 【中学年】・自分に合った方法を選んで表現しようとする子
- 【高学年】・表しやすいものを選んで自分の考えがもてる子
 - ・友達との関わりを通して自分の考えがもてる子

(2) 目指す授業像

- ① 『子どもたちの問い』が生まれてくるような問題提示の工夫がある授業。
- ② ペア、グループでの話し合い活動を取り入れる授業。

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	書かれている内容を正確に読み取る力を育てるとともに、伝え合う力を高め、思考力・想像力・言語感覚を養う。	音楽	表現や鑑賞の活動を通し、音楽を愛する心と感性を育て、基礎的能力と情操を養う。
算数	数学的活動を通して基礎的な知識と技能を身に付け筋道を立てて考える力を育てる。	図画工作	表現や鑑賞の活動を通し、創る喜びを味わい創造活動の基礎的な能力と情操を養う。
社会	社会生活への理解を図り、国土と歴史に対する理解と愛情を育て公民的資質を養う。	家庭	実践的・体験的な活動を通して、知識と技能を身に付け、生活をよくする態度を育てる。
理科	見通しをもって観察・実験を行い、問題解決能力と自然を愛する心情を育てる。	体育	運動経験と健康・安全についての理解を通して、運動に親しむ資質や能力を育てる。
生活	体験を通して、身近な人々・社会・自然とのかかわりに関心をもち自立への基礎を養う。	外国語	外国語による聞くこと・読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。

(2) 児童用タブレット端末の活用【市共通】

- ・ノート以外の自分の考えを表現する方法として、ジャムボードやスライド・スプレッドシートを活用する。
- ・行事や学活の授業アンケートとして form を活用し、児童の実態把握に利用する。
- ・単元末の復習として、e-ライブラリーを活用する。